

# 鹿児島県漁海況週報

令和2年4月9日発行(4月2日～4月8日)  
第2848報【旧暦:3月10日～3月16日/月齢:8.7～14.7/潮汐:長潮～大潮】



鹿児島県水産技術開発センター  
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号  
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

## 【海況】

### ○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、4月8日現在、平瀬の北9.5マイル付近にある。

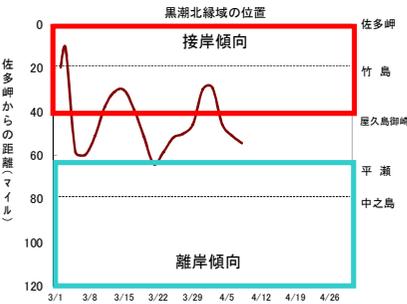
### ○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、4月7日現在、59マイル付近にある。

### ○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、鹿児島、屋久島御崎で0.3～2.3℃降温し、その他の海域で0.1～1.1℃昇温した。

平年比較では、黒潮流域、鹿児島、竹島、屋久島御崎で“平年並”、佐多岬で“やや低め”、その他の海域で“やや高め”となった。



### 表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	23.7	+0.3	+0.4	平年並
鹿児島	17.0	-0.3	-0.6	平年並
佐多岬	18.0	+0.7	-0.9	やや低め
竹島	20.7	+0.6	+0.2	平年並
屋久島御崎	20.7	-2.3	-0.4	平年並
中之島	23.6	+1.1	+0.9	やや高め
笠利崎	22.4	+0.1	+0.6	やや高め
与路島	22.0	+0.3	+0.6	やや高め
与論	22.2	+0.1	+0.5	やや高め
甕海峡	18.9	+0.2	+0.8	やや高め

鹿児島一那覇定期客船観測は4/8～9  
串木野一甕定期客船観測は4/8

## 【漁況】

### ○定置網

甕島海域では、週計でシラオ(0.7～1kg)が1.4トン、ヒラソダ(500g)が350kg、ウルメイワシ(300～400g)が160kgの入網。西薩南部海域では、ブリ(5～7kg)が1.3～9.8トン/日、1日のみハグツオ(1.5kg)が500kgの入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、マシ(80g)が1.2～6.6トン/日、1日のみイシダイ(1.1～1.5kg)が300kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でマシ(200～300g)が4.5トン、マサハ(200～700g)が1.2トン、ハグツオ(1.5kg)が200kg、チウオ(500g)が150kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で50統がサハ類中、ソダガツオ類、マシ小主体に48トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でサハ類、カクチイワシ、サワラ主体に12.0トンの入網。

### ○キビナゴ刺網

甕島海域では、1～5箱/隻・日の漁。西薩南部海域では、1～5箱/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、1日のみ7箱/隻の漁。

(旋網、棒受網、カツオ等の漁況は下記の表に記載しています。)

### 業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期		
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	2	69	津倉	サハ類大100	34.4	5	90	6	230
		中	4	96	津倉 甕西	サハ類大83 ウルメイワシ9	24.0	12	210	12	263
	枕崎	大	4	247	志布志沖 津倉	マサハ中小54 ゴマサハ中39	61.7	8	512	10	559
		中	6	201	志布志沖 宇治津倉	ゴマサハ中56 マサハ中小40	33.5	13	446	16	659
	内之浦	中	1	24	内之浦沖	サハ類中100	24.0	0	—	0	—
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
	計	大	6	316			52.6	13	601	16	789
中	11	321				29.2	25	655	28	922	
東海旋網	阿久根	0	—			—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—			—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	3	1	阿久根沖	カクチイワシ86 ウルメイワシ14	0.3	2	0.3	25	15	
	内之浦	0	—			—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	50	48		サハ類中63 ソダガツオ類9 マシ小8	1.0	48	66	49	85	
刺網	阿久根	大	0	—	甕長島 阿久根沖	キビナゴ100	0.1	25	2	68	6
		小	0	—			—	0	—	0	—
カツオ竿釣	枕崎	0	—			—	0	—	0	—	
	海旋	0	—			—	1	698	2	1341	
	海外旋網	0	—			—	0	—	1	3	
海旋	山川	0	—			—	0	—	1	3	
	海旋	1	1033		カツオ小48 キダダ27 カツオ中21	1,032.9	1	761	2	1591	

### ○バッチ網

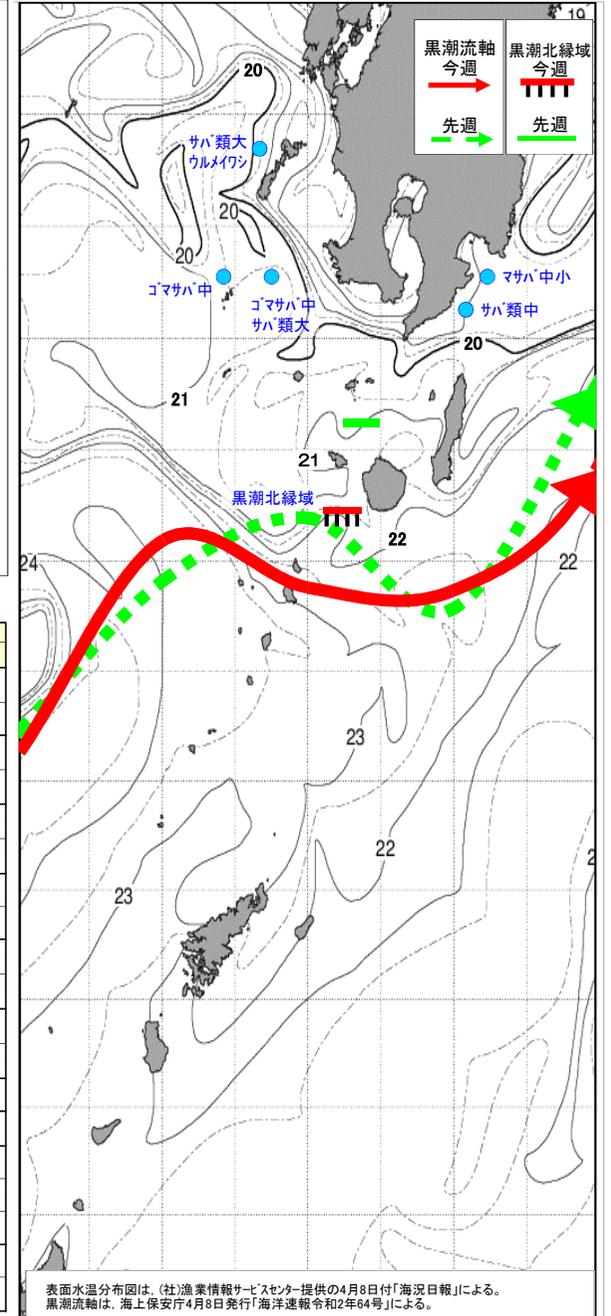
西薩海域では、生で1～2トン/統・日の漁があり、製品で2トンの入札があった。志布志湾海域では、製品で27トンの入札があった。

### ○トビウオロープ曳網

種子島海域では、大トビを1日のみ120箱/統の漁。屋久島海域では、大トビを8～470箱/統・日、中トビを32～239箱/統・日、中中トビを3～14箱/統・日の漁。

### ○その他

甕島海域では、曳網でハグツオ(1kg)を60kg/隻・日の漁。西薩海域では、ごち網でマダイ(1～5kg)を8kg～1トン/隻・日、チダイ(300g)を5～10kg/隻・日の漁。延縄でアカマダイ(300g)を7～21kg/隻・日、キダイ(300g)を13～18kg/隻・日の漁。底曳網でツキヒガイ(100g)を1日のみ40kg/隻の漁。一本釣りでイサキ(0.5～1kg)を20kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒゲナガエビを150～200kg/隻・日の漁。曳網でハグツオ(1.5kg)を20kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網でオコシ(1～4kg)を20kg/隻・日、マダイ(1～2kg)を10kg/隻・日、イホダイ(200～400g)を10kg/隻・日、チウオ(0.5～2kg)を1日のみ100kg/隻の漁。刺網でアカマス(100～300g)を40kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの3～4日操業でソデイカ(胴体のみ7kg)を9ハイ/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の4月8日付「海況日報」による。  
黒潮流軸は、海上保安庁4月8日発行「海洋速報令和2年64号」による。